

KÄRCHER

ケルヒャー業務用床洗浄機

BD 50/70 R Classic Bp

取扱説明書



ご使用前に必ずバッテリーを充電してください。

この度はケルヒャー商品をお買い上げ頂きまして誠に有難うございました。

ご使用に先立ち、取扱説明書をよくお読みいただき安全に正しくご使用ください。

お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

BD 50/70 R Classic Bp
202408

もくじ

安全上の注意	3~5
各部名称	6
使用前の準備	7
操作方法	8~11
作業が終わったら	12~13
バッテリーの充電	14
メンテナンス	15~17
トラブルシューティング	18
仕様	19
補修部品リスト	19
保証/延長保証・ユーザー登録	20
修理	20
お問い合わせ先	20

※ 本書に掲載されている図、画像と現物が異なる場合がございます。ご了承ください。

安全注意事項 床洗浄機

当機器の最初の使用前には、この純正取扱説明書ならびに「安全注意事項」をお読みください。記載事項に従ってください。両方の説明書は、後の使用あるいは次の所有者のために保管してください。

- 取扱説明書内の備考の他に、使用国の一般的な安全/事故防止規定を順守してください。
- 機器に取り付けられた警告および情報標識は、安全な操作のための重要な情報を提供します。

セキュリティレベル

△ 危険

- この注記は死亡に至る直近の危険を指します。

△ 警告

- この注記は身体の重傷または死亡に至る可能性が考えうる危険な状況を指します。

△ 注意

- この注記は軽度から中程度の怪我を招く恐れのある危険状態を示唆します。

注意

- この注記は器物破損を招く恐れのある危険状態を示唆します。

個人用保護具

△ 注意

- 機器を取り扱う際には、適切な手袋を着用してください。

一般的な安全に関する注意事項

△ 危険

- 窒息の危険。包装材に子どもが近寄らないようにしてください。

△ 警告

- 機器は規定に従ってのみ、使用してください。機器を操作するときは、周辺の状態を考慮し、第三者、特に子供に注意してください。
- 本機器は、身体的、感覚的、精神的能力に制限がある方、経験および/または知識が不足している人が使用するべきではありません。
- 装置の取り扱いについて指導を受けた、または操作スキルを持つことを示し、装置の使用を明示的に委託された人のみがデバイスを使用できます。
- お子様は本装置を使用しないでください。
- お子様は装置を玩具で遊ばないように監督してください。

△ 注意

- 安全装置は使用者を保護するためのものです。安全装置に変更を加えたり、バイパスさせたりするのは絶対におやめください。

感電の危険

△ 危険

- 銘形式表示板に記載されている電圧は、電源の電圧と一致している必要があります。
- 濡れた手で電源プラグやコンセントに触れないでください。
- 保護クラス I の機器は、適切にアースされた電源にのみ接続してください。

△ 警告

- 液体（洗浄剤など）を使用する作業は、本機が接続されたコンセントに残留電流ブレーカー（最大 30mA）が備わっている場合にのみ行うことができます。
- デバイスは、電気技師が IEC60364-1 に準拠して設置された電気設備にのみ接続してください。

- 漏れが発生した場合は、直ちに機器をオフにしてください。
- 泡が発生したり液体が漏れたりした場合は、すぐに機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- 毎回の運転前に、電源プラグ付きの電源コードが損傷していないか必ず点検してください。電源コードが損傷している場合はデバイスを作動させないでください。損傷した電源コードは、認定を受けたカスタマーサービス/電気技師にすぐに交換してもらってください。
- 踏みつけたり、押しつぶしたり、引っ張ったりして、電源コードや延長ケーブルを損傷させないでください。電源コードを熱、オイル、鋭利な角部から保護してください。
- 製造元が指定した主電源接続ケーブルのみを使用してください。注文番号とタイプについては、取扱説明書をご覧ください。
- 主電源接続部または延長ケーブルのカップリングは、同じ防滴性能と機械的強度を持つもののみ交換してください。

注意

- スイッチオンの際には、短時間の電圧降下が発生します。
- 主電源の状態が悪くと、他の機器に影響を与える可能性があります。
- 主電源インピーダンスが 0.15Ω 以下であれば、干渉はありません。

操作

△ 危険

- 危険なエリア（ガソリンスタンドなど）で機器を使用する場合は、そのエリアの安全規制を遵守してください。
- 爆発の恐れのある場所での操作は禁止されています。
- 爆発性の液体、可燃性ガス、爆発性の粉塵、または希釈されていない酸や溶剤を散布したり、吸引しないでください。これには、酸素と一緒に渦巻くことによって爆発性の蒸気または混合物を生成する可能性があるガソリン、シンナーや暖房用油といった物質が含まれます。また、機器で使用されている素材を腐食するアセトン、希釈されていない酸および溶媒も含まれています。
- 燃えやすい物や火の付いているものを吸引しないでください。

△ 警告

- 機器で人や動物を吸引しないでください。
- 傾斜面では、取扱説明書に指定されている側面方向および進行方向への傾斜角度を超えないようにしてください。
- 作業領域には、回転するディスクに引っかかって投げ出されるようなものがないことを確認してください。
- 回転部分に巻き込まれないように、身体にフィットする服を着用してください（ネクタイや長めのフレアスカートなどは着用しないこと）。

△ 注意

- 使用前に、機器と付属品が適切な状態にあること、そして操作上の安全性を確認してください。機器が損傷の際は機器のプラグを抜いて使用しないでください。
- モーターが作動している間は、決して、本機を監視なしで放置しないでください。本機から離れる時には必ずその前に、モーターを停止し、不意に動かないように機器を固定し、必要に応じてパーキングブレーキをかけて、イグニッションキー/インテリジェントキーを抜き取ってください。

- エンジン運転中はフードを開けないでください。
- 本機器は、健康に有害な粉塵の吸引には適していません。

注意

- 0°C未満の温度で機器を操作しないでください。
- 本機にソケットがある場合は、取扱説明書で指定されているアクセサリおよびアタッチメントを接続するためにだけ使用してください。
- この機器は掃除機ではありません。機器から吐出した量より多くの液体を吸引しないでください。乾燥した汚れの吸引には使用しないでください。
- この機器は、取扱説明書で示されている表面にのみ適しています。
- 本機は、湿った床または水深最大1 cmの濡れた床に適しています。水深が1 cmを超える領域では、運転しないでください。
- 汚水と洗浄液を処分するときは、各自自治体の規制を守ってください。
- 無許可の使用を防止するため、イグニッションキー/インテリジェントキーが装備された機器では、イグニッションキー/インテリジェントキーを抜き取って保管してください。
- 低温の屋外では使用しないでください。

洗浄剤を使用時の操作

- △ 注意** ● 洗浄剤は子供の手の届かないところに保管してください。● 推奨される洗浄剤を希釈せずに使用しないでください。本製品は、酸、アルカリ、または環境に有害な物質を含まないため、安全にご使用いただけます。これらの推奨された製品は、酸、アルカリ、または環境に有害な物質を含まないため、操作上安全です。洗浄剤が目に入った場合、すぐに多量の水で洗い流し、洗浄剤を飲み込んだ場合も、直ちに医師の診察を受けてください。● メーカーが推奨する洗浄剤のみを使用し、洗浄剤メーカーからの使用、廃棄に関する指示や警告に従ってください。

回転ブラシ/ディスク付きの機器

△ 危険

- 感電の危険。クリーニングヘッドの回転ブラシ/ディスクで、電源コードまたは延長コード上を走行しないでください。

△ 注意

- 不適切なブラシ/ディスクを使用すると、安全が損なわれます。ブラシ/ディスクは機器に付属のもの、または取扱説明書で推奨されているもののみを使用してください。

バッテリー駆動の機器

△ 危険

- 爆発の危険があります。バッテリーの近くやバッテリーを充電している部屋の中では、裸火を取り扱ったり、火花を発生させたり、煙草を吸ったりしないでください。
- 爆発、短絡の危険があります。バッテリーの上に工具などを置かないでください。
- 適した消火剤は、二酸化炭素、水、泡、粉末です。

△ 注意

- バッテリーの酸で怪我をするおそれがあります。関連する安全規制を順守してください。
- バッテリーおよびバッテリー酸を取り扱う際は、保護手袋、保護服、保護メガネ、顔面保護具を着用してください。
- バッテリーの酸で汚れたり、濡れたりした衣服はすぐに脱いでください。酸と接触した皮膚は水で洗い流すか、シャワーを浴びてください。

- 目に入った場合：少なくとも15分間、水で入念に洗い流します。コンタクトレンズを着用している場合は、可能であればコンタクトレンズを外して、さらに洗い流します。
- 酸性霧を吸入した後：きれいな空気を吸い込みます。
- 飲み込んだ後：すぐに大量の水を飲みます。活性炭を服用します。嘔吐を誘発しないでください。
- 直ちに中毒情報センターまたは医師に連絡してください。
- 酸が土壌や下水道に入らないようにします。
- こぼれた酸は結合剤（砂など）で封じ込めます。
- 石灰またはソーダ灰で酸を中和し、地域の規制に従って酸を廃棄します。

注意

- バッテリーおよび充電器のメーカーの取扱説明書に従ってください。バッテリーの取り扱いに関する法的推奨事項を順守してください。
- バッテリーを放電した状態で放置しないで、できるだけ早くバッテリーを再充電してください。
- 表面漏れ電流を防ぐために、バッテリーは清潔で乾燥した状態に保ちます。金属粉塵などの汚れからバッテリーを保護します。
- 使用済みのバッテリーは、EC指令91/157/EECまたは各国の規制に従って、環境に配慮した方法で廃棄してください。

空気入りタイヤ搭載の機器

△ 注意

- 修理およびスペアパーツの取り付けは、認定カスタマーサービスのみに依頼してください。
- 機器を取り扱う際には、常に適切な手袋を着用してください。
- ホイールが複数の部品に分割される機器の場合：タイヤの空気圧を調整する前に、リムのすべてのボルトがしっかりと締まっていることを確認してください。
- タイヤの空気圧を調整する前に、コンプレッサーの圧力レギュレーターが正しく設定されていることを確認してください。
- タイヤの空気圧は絶対に許容範囲を超えないようにしてください。タイヤの最大許容空気圧を決して超えないようにしてください。タイヤの空気圧は、タイヤ、または場合によってはリムで読み取る必要があります。値が異なる場合は、小さい方の値に従ってください。

搭乗式機器

△ 危険

- 搭乗式機器は、公道での使用は認められていません。道路での使用許可用の変換キットについては、販売店にお問い合わせください。
- 本機に同伴者を同乗せしないでください。
- 搭乗式機器は座席からのみ運転してください。
- ガソリンエンジン式機器の取扱説明書に記載されている、特別な安全に関する注意事項を順守してください。
- 落下物がオペレーターにぶつかる可能性のある領域では、落下物に対する落下物保護構造 (FOPS) なしでは機器を使用しないでください。

お手入れとメンテナンス

⚠ 警告

- 清掃、メンテナンス、部品の交換、別の機能への変更を行う前に、装置のスイッチをオフにする必要があります。主電源で動作する機器の場合は、電源プラグを抜きます。バッテリー駆動の機器では、バッテリープラグを抜くか、バッテリーを取り外します。

⚠ 注意

- 修理作業、スペアパーツの取り付け、電気部品の作業は、認定されたカスタマーサービスのみが行ってください。
- 修理は、認定されたカスタマーサービスセンター、または関連するすべての安全規定に精通しているこの分野の専門家のみが行うことができます。修理は、機器に関連するすべての安全指示に精通しており、資格のある認定されたカスタマーサービスまたはスタッフのみが実行できます。
- 水位リミッターを定期的に清掃し、損傷の兆候がないかどうか確認してください。

注意

- 機器の安全点検は使用する場所で適用されている規制に基づいて行ってください。
- ショートまたはその他の損傷。機器の清掃にホースによる水噴射や高圧水噴射を使用しないでください。

アクセサリーとスペアパーツ

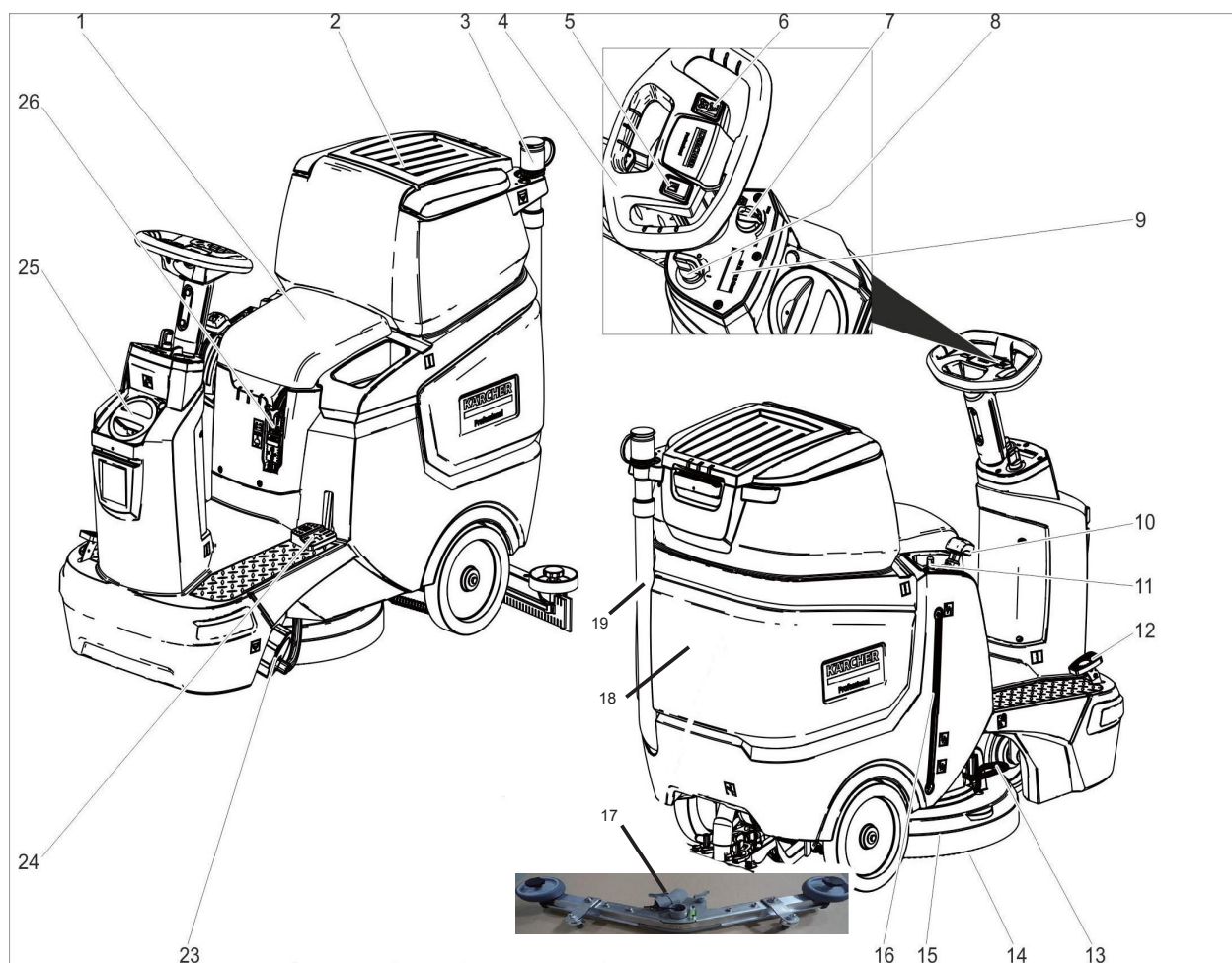
- ⚠ **注意** ● メーカーが承認したアクセサリおよびスペアパーツのみを使用してください。純正アクセサリおよびスペアパーツを使用することで、機器の安全でトラブルの無い動作が保証されます。

搬送

⚠ 注意

- 搬送前にモーターを停止してください。重量を考慮して機器を固定してください。取扱説明書の章 技術データ を参照してください。

各部名称



～スクイジー名称～



27

28

29

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. シート | 15. ブラシヘッド |
| 2. 汚水タンクカバー | 16. 洗浄水水位計 |
| 3. 汚水排水ホースキャップ | 17. Vスクイジー |
| 4. ハンドル | 18. 汚水タンク |
| 5. ホーンスイッチ | 19. 汚水排水ホース |
| 6. 進行方向切り替えスイッチ | 20. スクイジー角度調整ダイヤル |
| 7. 走行速度調整ダイヤル | 21. スクイジー固定ナット |
| 8. キースイッチ | 22. 吸引ホース |
| 9. ディスプレイ | 23. 洗浄水排水キャップ |
| 10. スクイジー昇降レバー | 24. ブラシ昇降ペダル |
| 11. 水量調整ダイヤル | 25. 洗浄水タンクキャップ |
| 12. アクセルペダル | 26. バッテリープラグ |
| 13. ブラシ外しペダル | 27. ストレートスクイジー |
| 14. ディスクブラシ | 28. パッド取付ディスク |
| | 29. 充電器 |

使用前の準

備バッテリーの充電>



1. 本体の充電器接続側のプラグと充電器のプラグを接続し、充電器のスイッチを入れて充電します。
2. バッテリー充電方法の詳細はP17 を参照してください。

<スクイジーの取り付け>



1. スクイジーのスクイジー固定ナットを両方緩めます。



2. 本体背面下部のスクイジーホルダーにスクイジーを装着し、スクイジー固定ナットでしっかり締めて固定します。
固定したら、スクイジーの水平器が水平位置になるように、前方の角度調整ダイヤルで調整します。



3. スクイジーに吸引ホースをスクイジーにしっかり差し込みます。

<洗浄水タンクへの給水>

洗浄水タンクキャップ



1. 洗浄水タンクキャップを外します。
2. 清水を給水し、必要に応じて適切な洗浄剤を適正量入れます。
※ 洗浄剤の希釈濃度を守ってください。
※ 発泡性の洗浄剤は使用しないでください。
3. 給水が終わったら洗浄水タンクキャップを戻します。

<汚水ホースキャップの確認>



- 汚水ホースのキャップがしっかり閉まっていることを確認します。
- キャップが完全に閉まっていないと、真空度が保てず、汚水が吸引されません。

操作方法

<本体の移動>

- ・ スクイジーが下りている場合はスクイジー昇降レバーを引いてスクイジーを上げてください。
- ・ ブラシが下りている場合はブラシ昇降ペダルを下げた状態でブラシを上げてください。



1. シートにしっかり深く座ります。

※ シート下にシートスイッチが設置されており、走行中に作業者がシートから離れたと感知すると、スイッチが作動して走行を停止します。座りが浅いとスイッチが作動して走行が停止する場合がありますのでシートにしっかり深く座ってください。



2. キースイッチを【I】に回します。

- ・ キースイッチを【I】に回して電源が入ると、ディスプレイが点灯し、次の点検までの目安時間→本体ソフトのバージョン→バッテリーインジケータの順に表示されます。

※バッテリーインジケータは電圧計です。マシン使用時に大電流が流れるとき、バッテリーの内部抵抗により電圧値が低下しますが、作動時間には影響ありません。また、バッテリーの消耗劣化によっても電圧値は低下します



3. 進行方向切り替えスイッチで前進または後進を押します。



4. ハンドルをしっかり握ってアクセルペダルを踏み、走行・移動します。減速・停止する時はアクセルペダルを戻します。

- ※ アクセルペダルの踏み込み具合で走行速度が調整できます。勢いよく踏み込まないでください。
- ※ 移動時のみの場合は走行速度調整ダイヤルを操作しても走行速度には反映されません。



注意

本体を走行させる場合は周囲に人や障害物が無いか十分に安全を確認し、ハンドルをしっかり握って適正な走行速度に調整して操作してください。旋回時は走行速度を十分に落とし、ハンドルをゆっくり回してください。

勾配が急すぎると転倒する危険があります。進行方向の勾配は 8% を超えてはなりません。上り坂や下り坂では縦方向にのみ走行し、曲がらないでください。

不安定な床面では転倒する危険があります。機械は平らな床面でのみご使用ください。勾配(2% 以上)でアクセルペダルを戻しても本体が停止しない場合は本体の電源を切らずに、平坦な床面がある場所まで移動してから電源を切り、業務用製品コールセンター(裏表紙 記載)へご連絡ください。

操作方法



<床面の洗浄>

1. シートにしっかり深く座ります。
 ※ シート下にシートスイッチが設置されており、走行中に作業者がシートから離れたと感知すると、スイッチが作動して走行を停止します。座りが浅いとスイッチが作動して走行が停止する場合がありますのでシートにしっかり深く座ってください。

2. キースイッチを【I】に回します。
 - キースイッチを【I】に回して電源が入ると、ディスプレイが点灯し、次回の点検までの目安時間→本体ソフトのバージョン→バッテリーインジケータの順に表示されます。

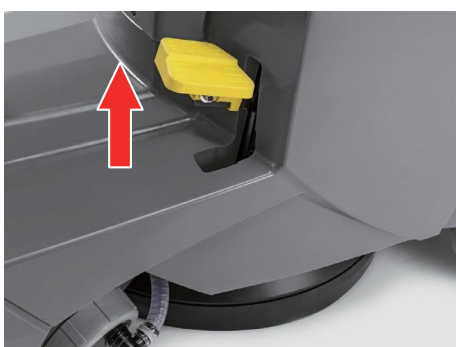
※バッテリーインジケータは電圧計です。マシン使用時に大電流が流れるとき、バッテリーの内部抵抗により電圧値が低下しますが、作動時間には影響ありません。また、バッテリーの消耗劣化によっても電圧値は低下します。



3. 進行方向切り替えスイッチで前進を押します。



4. 走行速度調整ダイヤルを任意のスピード位置に合わせます。
 ※ 走行速度調整ダイヤルは、使い始めから MAXの位置まで回さず、実際の走行速度を確認しながら調整してください。



5. ブラシ昇降ペダルを上げてブラシを下ろします。

操作方法



【洗浄・吸引】または【吸引のみ】で洗浄する場合は、スクイジー昇降レバーを下げてスクイジーを床面に接地させます。

※ スクイジー昇降レバーが下りるとバキュームモーターが作動し、吸引が開始されます。



【洗浄・吸引】または【洗浄のみ】で洗浄水を出して洗浄する場合は、水量調整ダイヤルを回して水量を設定します。

※ 水量調整ダイヤルは、使い始めから最大位置まで回さず、最小位置の少し上くらいに合わせ、床面や汚れの状況に応じて、徐々に水量を増やすようにしてください。

※ 洗浄水を出さずに洗浄する場合または、【吸引モード】を選択する場合は、水量調整ダイヤルを最小位置に合わせてください。



ハンドルをしっかり握ってアクセルペダルを踏み、走行します。減速・停止する時はアクセルペダルを戻します。アクセルペダルが踏まれるとブラシ(またはパッド)が回転します。水量調整ダイヤルが最小位置以外の場合は、洗浄水が吐出されます。

※ アクセルペダルの踏み込み具合で走行速度が調整できます。勢いよく踏み込まないでください。

※ スクイジーを下ろしている場合は、汚水の回収状況に応じて本体のスクイジー角度調整ダイヤルやスクイジーのスクイジー高さ調整ノブを回し、汚水の吸い残しが出ないように調整してください。



注意

本体を走行させる場合は周囲に人や障害物が無いか十分に安全を確認し、**注意** ハンドルをしっかり握って適正な走行速度に調整して操作してください。

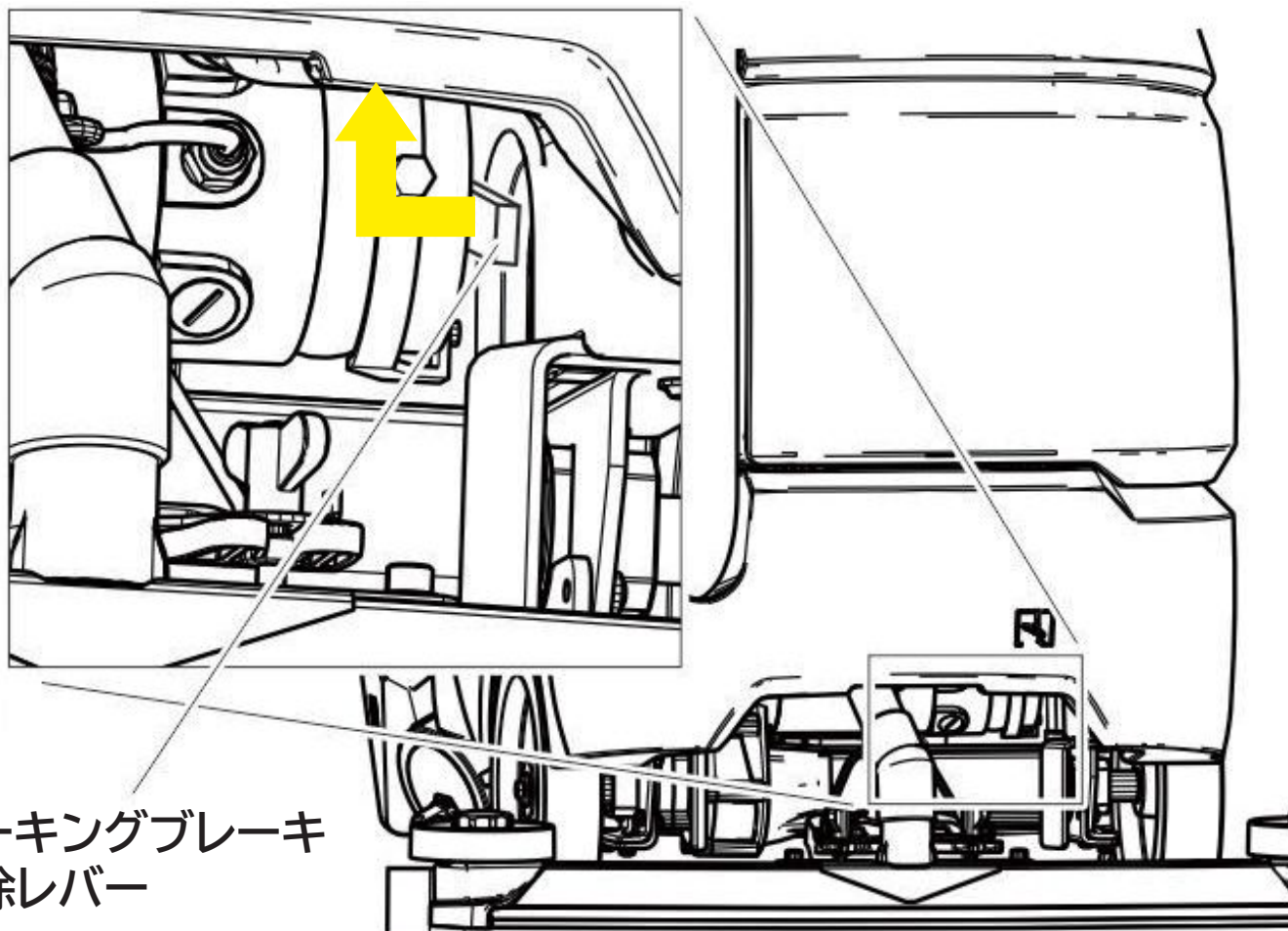
旋回時は走行速度を十分に落とし、ハンドルをゆっくり回してください。勾配が急すぎると転倒する危険があります。進行方向の勾配は 8% を超えてはなりません。上り坂や下り坂では縦方向にのみ走行し、曲がらないでください。

濡れた床では滑る危険があります。コーナリング中はゆっくり走行してください。

不安定な床面では転倒する危険があります。機械は平らな床面でのみ使用してください。

操作方法

(運搬時などに必要になります)パーキングブレーキの解除方法



パーキングブレーキ
解除レバー

マシンを後方から見た図

※本製品は、アクセルを離すと自動的にブレーキが利き、電源を切ればパーキングブレーキとなります。

※ 作業現場で完全放電などにより本体が全く動かなくなった場合などの緊急時の場合のみ、この操作を行ってください。

1. 本体の電源が入っている場合はキースイッチを【0】に回して電源を切ります。
2. 本体を後方から見て右側の後輪付近にあるパーキングブレーキ解除レバーを左側に引き、上方へ倒します。
3. パーキングブレーキが解除されます
4. ハンドルを操作しながら本体を押し、移動します。
5. 移動後は速やかにブレーキ解除レバーを元の状態に戻してください。



注意

ブレーキ解除は平坦な床面以外で行わないでください。
ブレーキを解除した状態で電源を入れて自走しないでください。

作業が終わったら ＜床面の残水を回収する＞



1. 水量調整ダイヤルを最小位置に合わせます。
2. ブラシ昇降ペダルを下げ、ブラシを上げます。
3. 洗浄水を出して洗浄していた場合は、スクイジー昇降レバーを下げて床面の残水を吸引してください。
4. 吸引が終わったらスクイジー昇降レバーを引いてスクイジーを上げます。

＜汚水の排水＞



1. 本体を排水場所まで移動し、汚水排水ホースを汚水タンクから外します。汚水排水ホース先端のキャップと蛇腹ホースの間の柔らかい部分を折り曲げて排水場所に近づけ、キャップを開けて汚水を排水します。【注意】汚水タンク内の水量が多いと、排水直後はホースから勢いよく汚水が排水される場合があります。跳ね返りや周囲への飛散などにご注意ください。
2. 汚水タンクの排水後は清水でタンク内部や粗ゴミフィルター、フロートを洗浄し、汚水排水ホースのキャップをしっかりと閉めてホースを汚水タンクの固定位置に戻します。※粗ゴミフィルター、フロートのメンテナンス方法は P18 をご確認ください。

＜洗浄水の排水＞



1. 本体を排水場所まで移動し、本体側面の洗浄水排水キャップをゆっくり回して外し、排水します。洗浄剤を入れて使用した場合は、洗浄水タンクキャップを開け、給水口から清水でタンク内部を十分にすすいでください。
2. 排水が終わったらキャップをしっかりと閉めます。



注意

本体を走行させる場合は周囲に人や障害物が無いか十分に安全を確認し、ハンドルをしっかりと握って操作してください。

作業が終わったら

<本体の電源を切る>



キースイッチを【0】に回して電源を切ります。
メインキーは紛失しないように保管してください。

<バッテリーの充電>



必要に応じて、バッテリーを充電します。
バッテリー充電方法の詳細はP17を参照してください。

※ 長期間(約 1 か月以上)使用しない場合でも毎月 1 度、バッテリーを充電し、使用開始前にも充電を行ってください。

<保管>



ブラシやパッド、スクイジーゴムの変形防止のため、床面から離して平坦な床面で保管してください。

※ 保管前にメンテナンス(P19 記載)を行ってください。

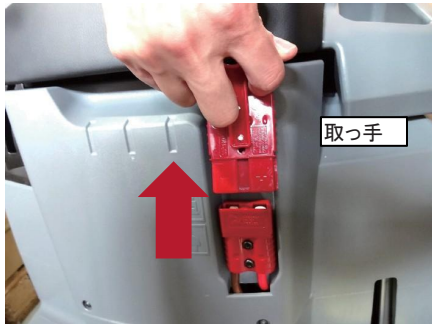
※ 凍結しない埃の少ない場所で保管してください。

バッテリーの充電

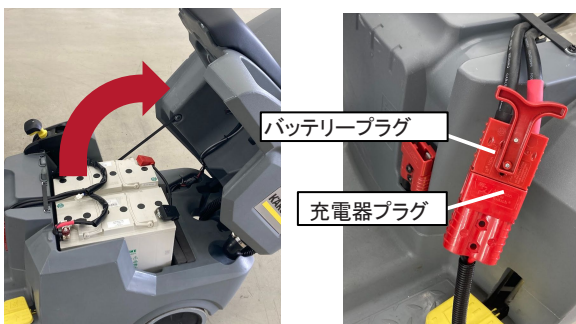
工場出荷時はバッテリーは充電されていません。
ご使用前にバッテリーの充電を必ず実施してください。



バッテリーを充電する時は必ず電源を切った状態で行ってください。
汚水タンクに水が入っている場合は排水してください。
充電中は汚水タンクを本体後方に傾けた状態にしてください。



1. 本体のバッテリープラグを外します。
※ バッテリープラグを取り外す際は、Y字状の取っ手をつかんで上にゆっくり引き抜いてください。



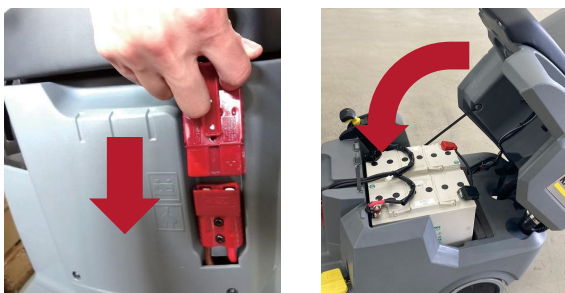
2. 汚水タンクを本体後方に傾けます。

3. 外したバッテリープラグ(Y字状の取っ手が付いている側)に充電器のプラグを接続します。



4. 充電器の電源プラグをコンセントに差し込むと充電を開始します。充電が開始されると、充電器の表示が順次切り替わり、充電容量、電圧、電流が表示されます。充電が完了しますと充電容量が100%に表示されます。充電時間は約10~12時間です。

5. 充電が完了しましたら、充電プラグをコンセントから抜いてください。



6. 本体のバッテリープラグを接続します。

7. 汚水タンクを戻します。

【注意】

汚水タンクを戻す際、指や手などを挟まないように注意してください。



濡れた手でバッテリーの接続ケーブルや電源プラグ、充電プラグを触らないでください。
金属片を充電器やバッテリーの端子に接触させないでください。
電源プラグをコンセントから抜く時はプラグ部分を持ってください。絶対に充電器のプラグを本体側のプラグに接続しないでください。ケルヒャー指定の充電器を使用してください。
充電器の取扱説明書を良く読んでから使用してください。
直射日光が当たる場所や発熱体の近辺など、高温になる場所で充電器を使用しないでください。
充電器の通気孔をふさがないでください。
可燃物の周辺で充電器を使用しないでください。
短時間の使用ごとにバッテリーの充電を行うことは避けてください。
充電器を使用しない場合は電源プラグをコンセントに接続しないでください。

メンテナンス



注意

メンテナンスを行う際は必ず電源を切った状態で行ってください。汚水タンク、洗浄水タンクの水を排水してください。
バッテリーの充電中に行わないでください。

<本体のお手入れ>

本体外観の汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸したやわらかい布を固くしぼって拭き取ってください。



注意

ガソリン、シンナー、ベンジン、掃除用・殺虫用・整髪スプレーなどをかけないでください。破損、変質、変色の原因となります。

<メンテナンススケジュール>

点検箇所	点検項目および実施作業	点検頻度		
		作業ごと	週1回	月1回
汚水タンク	・汚水タンクの排水	●		
	・汚水タンク内部のすすぎ	●		
	・フロートの動作確認	●		
	・粗ゴミフィルターのゴミや汚れの有無 ⇒汚れている場合は清水で洗ってください。	●		
汚水タンクカバー	・シールの変形、破損の有無 ⇒変形、破損している場合は新品に交換してください。	●		
ブラシまたはパッド	・汚れ、異物の有無 ⇒汚れている場合は洗ってください。異物が絡まったり、挟まったりしている場合は取り除いてください。	●		
	・摩耗、破損の有無 ⇒摩耗、破損している場合は新品に交換してください。	●		
スクイジー	・スクイジーゴムの汚れの有無 ⇒汚れている場合は清水で洗ってください。	●		
	・スクイジーゴムの摩耗、破損の有無 ⇒摩耗、破損している場合は新品に交換してください。	●		
	・スクイジー吸引口の詰まりの有無 ⇒詰まりがある場合は取り除いてください。	●		
吸引ホース	・汚れ、詰まりの有無 ⇒汚れや詰まりがある場合は取り除いてください。劣化・硬化・損傷している場合は新品に交換してください。		●	
バッテリー	・ケーブルの接続状況の確認 ⇒ナットに緩みがある場合はバッテリープラグを外してからケーブルのナットを締め直してください。			●

ケルヒャーによる有償点検も行っております。

詳細は業務用製品コールセンター(裏表紙)までお問い合わせください。

メンテナンス

<汚水タンクのフロート および カバー>



フロート(浮き)がスムーズに上下に動くかを確認します。ゴミや汚れが付着している場合は洗浄します。

粗ゴミフィルターにゴミや汚れが付着している場合は洗浄します。
フロートおよび粗ゴミフィルターは汚水タンクから取り外して洗浄が行えます。

<汚水タンクカバー内側のシール>



汚水タンクカバー内側のシール(ゴムパッキン)の状態を確認します。
摩耗や損傷がある場合は交換してください。

<ブラシ または パッド>



状態を確認します。
汚れが付着している場合は洗浄し、摩耗や損傷がある場合は交換してください。
ブラシはブラシ長さ約 10mm を目安に交換してください。

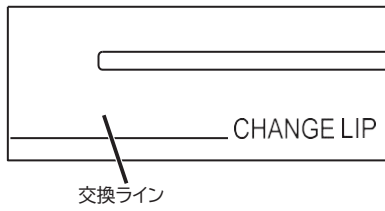


ブラシ または パッド台の外し方
ブラシ昇降ペダルを下げてブラシまたはパッド台(以下「ブラシ」)が上がっている状態でブラシ外しペダルをしっかりと踏み込んでブラシを外します。

ブラシを取り付ける場合は、ブラシ面を下にして、ブラシヘッドの下に入れて位置を調整し、ブラシ昇降ペダルを上げてブラシヘッドにブラシをロックさせて装着します。

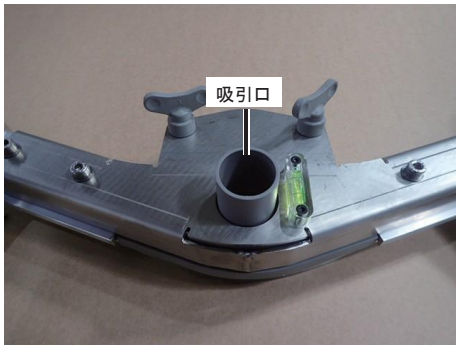
メンテナンス

<スクイジー>



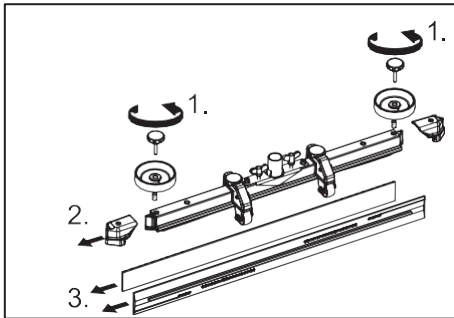
スクイジーゴムの状態を確認します。

汚れが付着している場合は洗浄してください。
破損または交換ライン(“CHANGE LIP” と書かれている線)まで摩耗している場合は上下を入れ替えるか、新品と交換してください。



スクイジーの吸引口にゴミや異物が詰まっていないか確認します。

ゴミや異物が詰まっている場合は取り除いてください。

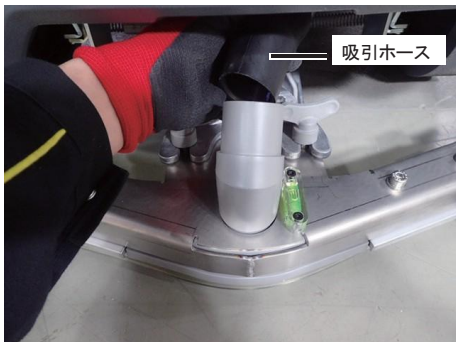


スクイジーゴムの交換方法

※図はストレートスクイジーで説明していますが、V型スクイジーも同様です。

1. ガイドローラー上部のローラー固定ノブを緩めて取り外します。
2. ガイドローラーとその下のエンドカバーを取り外します。
3. スクイジーゴムを引き抜き、交換します。交換後は逆の手順で戻します。

<吸引ホース>



スクイジーから吸引ホースを外して状態を確認します。

ホース内部にゴミや異物が詰まっている場合は取り除き、摩耗や損傷がある場合は交換してください。

<バッテリー>



汚水タンクを後方に倒し、バッテリー接続ケーブルに緩みがないか確認します。

緩みがある場合はバッテリープラグを外し、ナットをしっかりと締めてください。

【注意】

バッテリーのショートに注意してください。

トラブルシューティング

<操作パネルのディスプレイに表示されるエラーと対策>

ディスプレイの表示	原因	対策
ERR LT-74	起動エラー	電源を切って1分間ほど置き、再度入れ直してください。

<操作パネルのディスプレイに表示されないトラブルと対策>

問題	想定される原因	対策
本体が動かない	バッテリーが充電されていない	バッテリーを充電してください。
	バッテリーの寿命	バッテリーを交換してください。
	電源が入っていない	キースイッチを【I】にしてください。
	バッテリープラグが正しく接続されていない	バッテリープラグを正しく接続してください。
	シートスイッチが作動している	シートにしっかり深く座ってください。
	アクセルペダルが踏まれた状態で電源がONになった	アクセルペダルから足を放して電源を入れてください。
	ブレーキが解除されている	ブレーキ解除レバーを元の状態に戻してください。
洗浄水が十分に出ない	清水の量が不足している	清水タンクに清水を給水してください。
	洗浄水吐出量が少ない	洗浄水調整ダイヤルをして吐出量を調整してください。
	吐出バルブが詰まっている	ケルヒャーサービスフロントにご連絡ください。
汚水が十分に吸引されない	汚水タンクカバーがしっかり閉まっていない	汚水タンクカバー内側のシールが変形、破損している場合は交換してください。
	汚水タンクが満水	汚水を排水してください。
	汚水排水ホースのキャップが閉まっていない	汚水排水ホースのキャップをしっかりと閉めてください。
	フロートの作動不良	フロートがスムーズに動くか確認してください。
	スクイジーが下がっていない	スクイジー昇降レバーを下げてください。
	スクイジーの調整が不適切	スクイジー角度調整ダイヤルやスクイジーの高さ調整ノブで調整してください。
	スクイジーゴムが摩耗している	新しいスクイジーゴムに交換してください。
	吸引ホースに異物が詰まっている	異物を取り除いてください。
洗浄結果が良くない	吸引ホースが緩んでいる	スクイジーの吸引口にしっかり差し込んでください。
	ブラシまたはパッドが下がっていない	ブラシペダルを下げてブラシまたはパッドを床面に接地してください。
	ブラシ、パッド、洗浄剤が合っていない	床面や汚れの状態に合わせて適切なものを使用してください。
ブラシまたはパッドが転しない	ブラシまたはパッドが摩耗している	摩耗している場合は交換してください。
	アクセルペダルが踏まれている	アクセルペダルを踏んでください。
	異物が絡まったり挟まったりしている	異物を取り除いてください。
	ブラシモーターのオーバーヒート	モーターが過熱している場合は冷めるまで時間をおいてください。電源を切って30分程度置いてから再度電源を入れてください。

対策を行ってもトラブルが改善されない場合や上記以外のトラブルが発生した場合は業務用製品コールセンター(P20 記載)へお問い合わせください。

仕様

主要スペック	
駆動方式	バッテリー
推進力	モーター
ブラシの作業幅(mm)	510
作業幅、バキューム(mm)	900
清水/汚水タンク容量 (L)	70 / 70
理論面積性能(m ² /h)	2805
実用面積性能(m ² /h)	1964
バッテリータイプ	鉛・メンテナンスフリー
バッテリー(V/Ah)	24V / 115 Ah
バッテリー駆動時間 (h)	最大3
走行速度(km/h)	最大 5,5
洗浄ブラシ種類	20インチディスクブラシ
ブラシ回転速度(rpm)	155
ブラシ接地圧、面圧 (kg)	19,5
通路旋回幅(mm)	1650
水消費量(リットル/分)	最大 2,3
音圧レベル(dB(A))	最小 66
重量(kg)	202kg
梱包重量 (kg)	243kg
<標準付属品>	
メンテナンスフリーバッテリー	12 V × 2 個
充電器	1 個
スクイジー 900 mm V字型	1 式
ディスクブラシ(赤)	1 枚

※仕様・外観は、製品改良により予告なく変更する場合があります。

補修・消耗品リスト

品名	品番	備考
ディスクブラシ	4.905-026.0	硬さ:標準 / 色:赤色
V型スクイジー	4.777-179.0	スクイジーとスクイジーゴム一式
V型スクイジー用ゴム		ゴム部分のみ、前後2枚ペア
バッテリー	9.548-246.0	必要数 2個

<保証>

保証規定については、同梱の保証書をご確認ください。
弊社 Web サイトで最新の情報を入手頂き、お問い合わせください。

<延長保証>

ユーザー登録をしていただくと、製品(アクセサリ、パーツ、洗浄剤は除きます)の保証期間が2年に延長されます。

条件:ご購入後【30日以内】の登録が必要になります。

<ユーザー登録方法>

以下のQRコードを読み取っていただくか、ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。

- 延長保証へご加入の場合はご購入から30日以内にご登録ください。
- ご登録には製品名とシリアルナンバー(製造番号)が必要です。
- 2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。
S/N:xxxxxx の数字がシリアル番号です。



<お問い合わせ先>

- 製品仕様に関するお問い合わせ
業務用製品コールセンター TEL:045-777-7410
FAX:045-777-7411
受付時間 9:00~17:00 月曜~金曜(祝日、弊社休日を除く)

ホームページからの修理お申込み

https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html

登録情報について

お客様にご登録いただいた個人情報は第三者に提供することはありません。

尚、ユーザー登録情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

当社の個人情報保護の取り組みについては、ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトでご覧いただけます。